

岩手・宮城内陸地震

土砂崩れ発生



地震の概要

発生日時 2008年6月14日8時43分

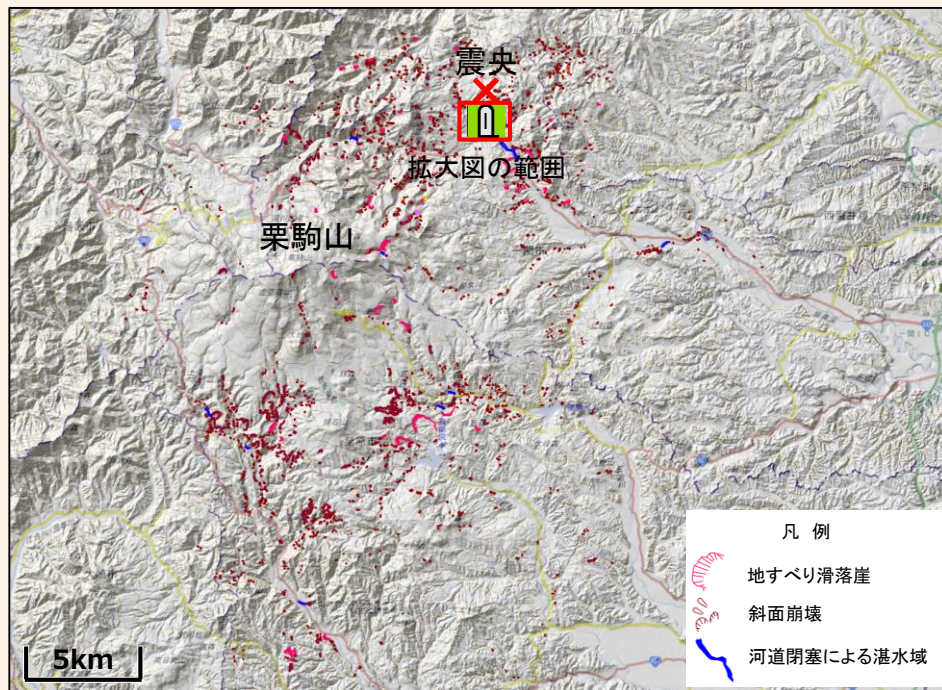
震度 マグニチュード 7.2

被害状況 地震のゆれで、岩手県と宮城県で大規模な土砂崩れや河道閉塞が発生し、死者17名、行方不明6名、負傷者426名、家屋の全壊30棟、半壊146棟、崖崩れ15箇所、土石流29箇所、地すべり4箇所等の被害が発生した。

※地震の概要は内閣府「防災情報のページ」（2010年6月23日現在）の内容を編集

災害状況図は「地理院地図による情報集約マップ」より編集

災害状況図



震源のゆれが大きいと、山やがけの斜面が崩れることがあるんだ。

崩れた土砂で家屋が埋まったり、道路が通れなくなって集落が孤立することもあるよ。

急な斜面の近くにいる人は、ゆれを感じたら少しでもがけから遠いところに避難しようね。

斜面が大きく崩れると、崩れた土砂で川がせき止められて上流側の水位が上がり、低い場所が水没することもあるから、地震が収まっても注意が必要だよ。



災害状況図(拡大図)

